

手軽にスムーズなさく乳ができる

さく乳器 手動

Manual Breast Pump

取扱説明書



このたびは、リッチェル製品をお求めいただきありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
また、本書はいつでも見られる場所に大切に保管してください。本品を他の
お客様にお譲りになる場合は必ず本書も併せてお渡しください。

<さく乳器について>

母乳を保存しておき、あとで赤ちゃんに飲ませる場合や、直接母乳を与えられないときに、母乳をしぼって与える器具です。

出産直後は乳腺が未発達で母乳が出にくい状態です。1～2回のマッサージやさく乳だけでは出にくい場合もあります。毎日ゆっくりあせらずに行ってください。それでもさく乳できないときは、専門医に相談することをお勧めします。

<特長>

- 片手で手軽にさく乳できます。
- さく乳の吸引圧とタイミングが調節できます。
- レバーには、すべり止めが付いています。

効率的にさく乳できる2段階モード(リズム)切替えシステム

① マッサージモード(速いリズム)

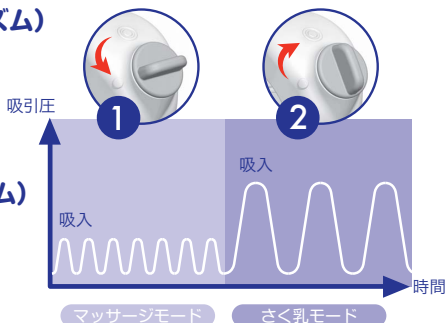
～母乳の分泌を促す～

赤ちゃんがおっぱいを吸い始めるように、速いリズムで乳首をやさしく刺激し、母乳の分泌を促します。

② さく乳モード(ゆっくりリズム)

～母乳が出始める～

赤ちゃんが母乳を飲むときのように、ゆったりした深いリズムで吸引圧と速さを自由に調整しながら、スムーズにさく乳をします。



おっぱいにやさしいシリコンカバー

- ・おっぱいにやさしくフィットします。
- ・ソフトな肌触りです。
- ・ゆるやかな凹凸が乳首をやさしく刺激します。



<使用上の注意>

○記号の説明

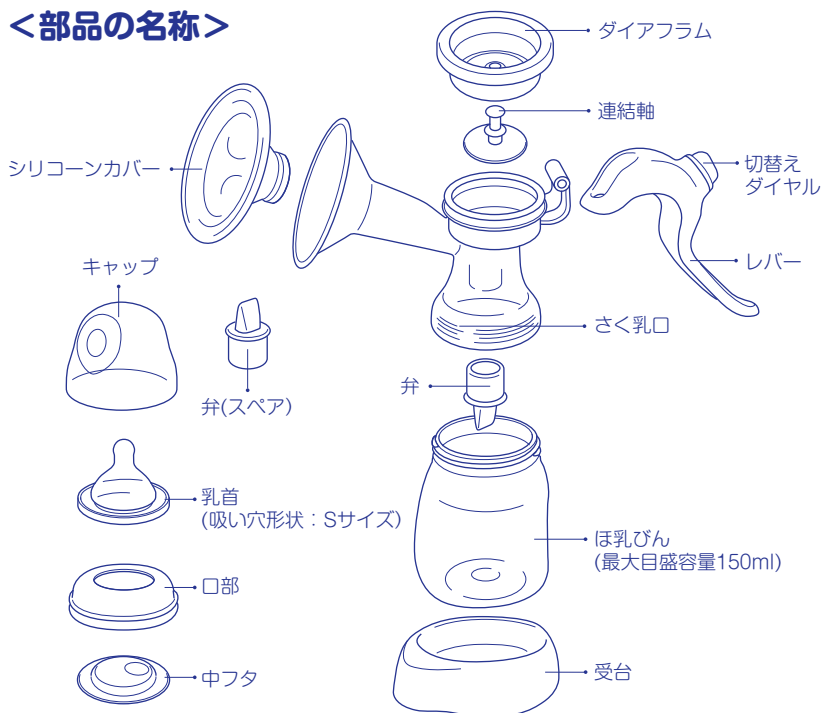
この取扱説明書は、製品を安全に使用していただくために特に守っていただきたいことについて、次のマークで表示しています。マークの意味を十分理解されたうえで使用していただきますようお願いいたします。

⚠注意 …取扱いを誤った場合、軽度の傷害を負ったり、物的損害につながるおそれのあるもの。

⚠注意

- さく乳以外の目的では、絶対に使用しないでください。
- 火のそばに置かないでください。
- 各部品を正しくしっかり取り付けてください。間違ったり、ゆるかったりした場合、さく乳できないおそれがあります。
- 乳首や乳腺の異常を感じた場合は、さく乳を直ちに中止して専門医に相談してください。
- 過度の使用や連続しての吸引は、乳首や乳腺を痛めるおそれがありますので注意してください。
- 乳首や乳腺が痛むときは使用を中止してください。
- さく乳は手を清潔にして行ってください。
- 製品や取り外した部品をお子様の手の届くところに置かないでください。ケガや誤飲のおそれがあります。
- 落としたり強い衝撃を加えないでください。変形、破損の原因になります。
- 煮沸消毒や電子レンジ消毒直後の製品は直接触れないでください。ヤケドのおそれがあります。
- 過度の煮沸は製品を早くいためますので避けてください。

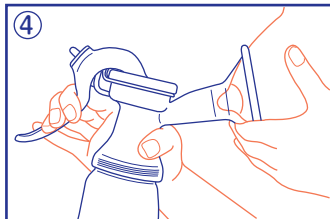
<部品の名称>



<さく乳器の使用法>

- ① さく乳する前に手をきれいに洗います。
- ② さく乳器を分解・洗浄・消毒し、正しく組立てます。(分解・洗浄・消毒・組立てのページ参照)
- ③ イスなどに座り、やや前かがみの姿勢でさく乳します。

- ④ 乳頭がシリコンカバーの中心にくるようにして、乳房にぴったり押し当てます。空気が漏れないようにシリコンカバーを密着させてください。もう一方の手で乳房を下から支えると上手く密着できます。



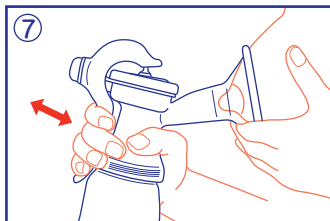
- ⑤ ダイヤルを「●」に合わせて速いリズム(約1秒)でレバーを握る、離すをくり返し、母乳が出始めるように促します。



- ⑥ 母乳が出始めたら、ダイヤルを「●」に切り替えてゆっくりリズム(約2~3秒)でレバーを握る、離すをくり返します。



- ⑦ 吸引圧は、レバーを握る量で調節できます。自分に合う適度な吸引圧とリズムでさく乳を行ってください。



- ⑧ 付属の乳首・口部とキャップを取り付けて、そのままほ乳びんとして使用できます。

▲ 注意

- さく乳時に痛みや不快感を感じたら、さく乳を中止してください。
- さく乳器を使っても母乳が出ないときは、無理にさく乳をしないでください。
- ほ乳びんに母乳が入った状態でさく乳器を倒すと、中身がこぼれますのでご注意ください。
- ほ乳びんに150ml以上のさく乳はしないでください。

さく乳口に母乳がたまるおそれがありますので、下記に注意してください。

- レバーの握りをゆっくり行うとたまりやすくなりますので、レバーの握り・離しは等間隔のリズムで2~3秒以内に行ってください。
- さく乳中に休憩するときは、レバーから手を離してください。
- さく乳口に母乳がたまったときは、本品を乳房から離し、レバーの握り・離しを数回行い、母乳をほ乳びんへ流してください。

<洗浄について>

- 使用前に必ず洗浄および消毒してから使用してください。
- 細菌による感染症予防のために、使用後はすぐぬるま湯につけて洗浄してください。
- 洗うときは、やわらかいスポンジとほ乳びん専用洗剤を使用してください。
みがき粉、クレンザー、たわしなどがたいものでこするとキズがつき、汚れや白濁の原因となるおそれがあります。また、洗剤が残らないよう十分すすいでください。
- 乳首は裏返してからていねいに洗ってください。乳頭部の吸い穴および空気穴はよくもみ洗いをしてください。つまるとつぶれやびんの中への脱落など思わぬ事故の原因になります。
- シリコーンゴム製の部品(シリコーンカバー・ダイアフラム・弁・乳首)はやわらかいスポンジでやさしく洗ってください。乱暴に洗うと破れたりキズがつくおそれがあります。

<消毒について>

【煮沸消毒】

- 煮沸消毒の際、ヤケドなどには十分に注意してください。
- 製品がなべの底に接しないよう大きめのなべにたっぷりお湯を沸かします。
- 過度の煮沸は製品を早くいためますので避けてください。煮沸するときは、大きめの鍋にお湯をたっぷり入れて3~5分煮沸してください。
- 製品は冷めてから取り出してください。製品が高温になりヤケドをするおそれがあります。また、熱による変形、破損の原因になります。

【薬液消毒】

- 各部材を取り外し、ほ乳びん、乳首専用の消毒液を使用してください。
- 消毒液の取扱説明書にしたがって消毒してください。薬液消毒の場合、印刷の色が薄くなるおそれがあります。

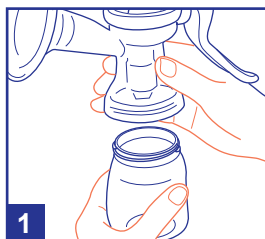
【電子レンジ消毒】

- 各部材を取り外し、電子レンジおよび電子レンジ消毒器の取扱説明書にしたがって消毒してください。
- 直接電子レンジにはほ乳びんや部品を入れないでください。

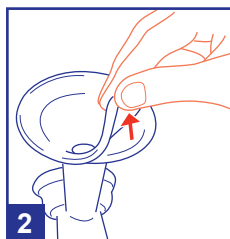
【漂白】

- 漂白する場合は台所用酸素系漂白剤を使用し、漂白剤の取扱説明書にしたがってください。
- 漂白時間は30~40分を限度としてください。過度の漂白は製品を早く傷めます。

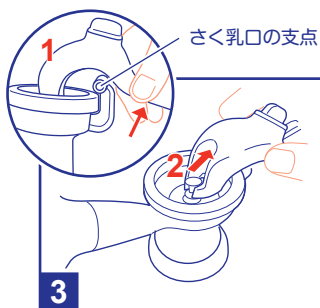
<分解の仕方>



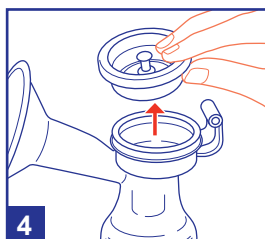
ほ乳びんを取り外します。



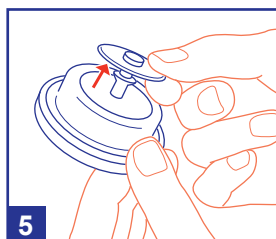
シリコンカバーをさく乳口から取り外します。



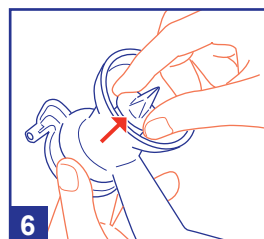
さく乳口からレバーを取り外します。
1. レバーを押し上げるようにしてさく乳口の支点から外してください。
2. 後ろに引いて連結軸から外してください。(切り替えダイヤルは取り外さないでください。)



さく乳口からダイヤフラムを取り外します。



ダイヤフラムから連結軸を引き抜きます。



弁の周りを持ち、弁をやさしく引っ張って取り外します。

▲ 注意



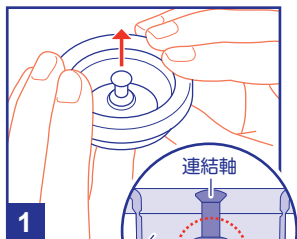
弁の先端
弁の周り

弁の先端を持って引っ張らないでください。破れたりキズがつくおそれがあります。弁が破損すると吸いできません。

▲ 注意

- この製品は分解すると小さな部品になります。赤ちゃんが口に入れないように注意してください。また分解時になくさないようにしてください。
- シリコンゴム製の部品は乱暴に扱うと破れやキズがつくおそれがあります。取扱いには十分に注意してください。
- 分解は必ず順番に沿って行ってください。

<組立ての仕方>

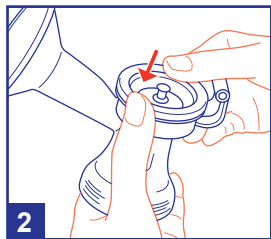


1

ダイアフラム

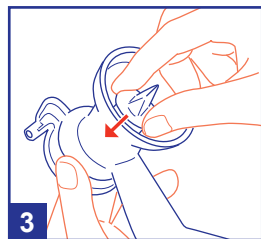
ダイアフラムの裏面から連結軸を差し込みます。

※上図参照



2

ダイアフラムをさく乳口に取り付けます。ダイアフラムの裏側のヘリの溝に、さく乳口の縁をはめ込んでください。取付けが不十分ですと空気もれて吸引できません。

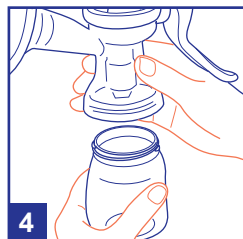


3

さく乳口に弁を取り付けます。弁の周りを持ち、さく乳口の根元まで入れてください。

▲ 注意

弁の先端を持って取り付けしないでください。破れたりキズがつくおそれがあります。弁が破損すると吸引できません。



4

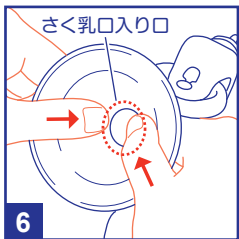
さく乳口にほ乳びんを取り付けます。



5

レバーを取り付けます。

1. レバーの溝に連結軸を引っ掛けてください。
2. さく乳口の支点到レバーをしっかりはめてください。取付けが不十分ですとレバーがうまく動きません。



6

シリコンカバーをさく乳口に取り付けます。その際、さく乳口の入り口と密着するようにしっかり押し入れてください。

▲ 注意

- この製品は分解すると小さな部品になります。赤ちゃんが口に入れないように注意してください。また組立て時になくさないようにしてください。
- シリコンゴム製の部品は乱暴に扱うと破れやキズがつくおそれがあります。取扱いには十分に注意してください。
- 組立て時は手を清潔にして行ってください。
- 組立ては必ず順番に沿って行ってください。

<母乳保存の方法>

【冷蔵保存】

- さく乳後24時間以内に授乳するのであれば冷蔵庫（5℃くらい）で保存できます。与えるときは40℃くらいのお湯で温めてください。
- 冷蔵保存するときは、付属の口部と中フタを右下図のように取り付けてください。

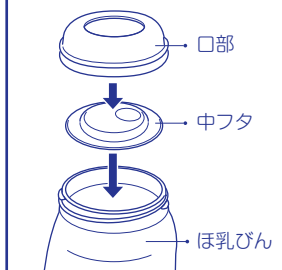
【冷凍保存】

- 母乳はマイナス18℃以下で約3週間の冷凍保存が可能です。保存専用バックに入れて冷凍庫に保管します。冷凍した母乳は流水で解凍した後、40℃くらいのお湯で温めてください。
- ※詳細は保存専用バック記載の取扱説明書にしたがって使用してください。

▲注意

- 冷凍した母乳の電子レンジでの解凍はしないでください。
- 付属のほ乳びんで冷凍保存はしないでください。割れるおそれがあります。
- 解凍した母乳はすぐに与えてください。
- 一度解凍した母乳は再度冷凍しないでください。
- さく乳した母乳と保存した母乳と一緒にしないでください。
- 中フタを使用しても漏れるおそれがあります。母乳が入ったほ乳びんは立てて保存してください。

【口部・中フタのセット方法】



<付属のほ乳びんと乳首について>

【乳首の特長】

- おっぱいと同じ感覚で飲むことができる、柔らかい素材です。
- 赤ちゃんがおっぱいを飲む時と同じ感覚で舌の動きに合わせて伸縮します。さらにつぶれによるくつきを防止します。
- 真空状態を防ぎ、ミルクの流れがスムーズになる構造です。
- おっぱいのように自然に大きく口を開けて飲むことができるサイズと形状です。



【ほ乳びんの特長】

- 安心素材PPSU(polyphenylsulfone)を使用しています。
- 軽量で衝撃に強く、煮沸消毒を繰り返しても劣化しにくい耐久性に優れた素材です。
- 赤ちゃんにもママにも持ちやすく、人間工学に基づいてデザインされた3Dボトルで、倒れても転がりにくい安定した形状です。



PPSUとは…
・BPA(Bisphenol-A)を含まない材質です。

<ほ乳びんの使用方法>

【授乳方法】

- 授乳の際は保護者の監督のもとで行ってください。
- 授乳時間は15～20分を目安にしてください。適切な授乳は赤ちゃんのアゴの運動を促し、離乳食へ移行するための準備運動となります。
- 乳首の先端に母乳を少し残した状態で授乳をやめてください。最後まで吸わせるとう空気を飲み込むおそれがあります。

【乳首の使用について】

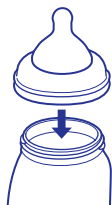
- 乳首は2～3コを交互に使ってください。赤ちゃんがひとつの乳首になじむと、新しい乳首を嫌って吸わないおそれがあります。
- 同じ乳首を長く使用すると弾力を失い、破れたりして本来の機能を失うばかりでなく、思わぬ事故の原因となります。より衛生的にお使いいただくためにも、早めに取り替えてください。
(目安は2コを交互に使用した場合、約2カ月)
また、乳首の表面がベタついたり先端がふくらんだものはゴムが劣化していますので、使用しないでください。
- 歯の生えている赤ちゃんが噛んで引っ張ると裂けるおそれがありますので注意してください。

【乳首のセット方法】

- ①乳首を口部に取り付けてください。乳首が口部に正しくセットされないと漏れの原因になります。



- ②①でセットした口部をほ乳びんに取り付けてください。



乳首についての注意

- 使用前に必ず洗浄および消毒をしてください。
- 吸い穴や空気穴がゴムの特性で密着してしまい、ミルクが正常に出なくなることがありますので、もみ洗いなどをして、常に弁が開閉しやすい状態にしてください。
- 使用後は、すぐにぬるま湯につけて市販の乳首ブラシなどで十分に洗浄した後、消毒を行ってください。



部品名	材質	耐熱温度	消毒方法			食器洗い乾燥機
			煮沸	薬液	電子レンジ	
さく乳口・連結軸・切替えダイヤル・受台・キャップ・口部・中フタ	ポリプロピレン	120℃	○	○	○	○
レバー	ポリプロピレン エラストマー	120℃	○	○	○	○
シリコーンカバー・ダイアフラム・弁・乳首	シリコーンゴム	140℃	○	○	○	○
ほ乳びん	ポリフェニルサルホン	140℃	○	○	○	○

- ・食器洗い乾燥機は家庭用のものを使用し、熱風吹出口付近には置かないでください。
- ・機種によっては水流などで製品が飛んで、うまく洗浄できない場合もあります。

製品の外観および仕様は、品質向上のため予告なく一部変更する場合があります。

この商品の品質で、お気づきの点がございましたらお手数ですが下記までご連絡ください。

株式会社リッチェル

富山市水橋桜木136 〒939-0592 お客様相談室/TEL(076)478-2957
受付時間:9:00~17:00(土日、祝祭日を除く)

<http://www.richell.co.jp/>

MADE IN CHINA

